

外国語活動指導案

2014年6月12日(木)

5年2組 30名

指導者 HRT 佐藤 真奈美

ALT Randall Crossman

1 単元名 好きなものは何? (Hi, friends! Lesson 4 I like apples.)

2 単元の目標

- (1) 好きなものや好きでないものについて、積極的に伝えようとする。
- (2) 好きなものや好きでないものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- (3) 日本語と英語の音声の違いに気付く。

3 児童の実態

本学級の児童は明るく元気で、外国語活動を楽しみにしている。また、ALTの来校を心待ちにしている児童が多く、自分なりに工夫しながらコミュニケーションを図ろうとする姿や、休み時間にも進んで関わろうとする姿が見られる。しかし、「英語を使って自分の思いを表現するのは恥ずかしい」等の気持ちが先立ち、自信をもってみんなの前で発言することには抵抗がある様子や、活動時に声が小さくなったりインタビュー活動では相手が来てくれるのを待ったりする消極的な様子も見られる。

4月に外国語活動と出合い、これまで英語の基本的なあいさつや20までの数、自分の気持ちを伝える表現にふれさせてきた。活動に必要な語彙に、歌やチャンツ、ゲーム等を通して慣れ親しんできた。英語のみの指示や説明を理解することは難しいが、絵カードやジェスチャーなどから理解しようと努力する児童が多い。

そこで、本単元でもゲーム的活動を取り入れる場面を多く設定し、コミュニケーションを図ることの楽しさを味わわせ、体験を積み重ねさせることで安心して外国語活動に取り組めるようにしていきたい。さらに、ペアやグループになって活動したり、普段の生活で話すことがあまりない友達とやりとりしたりすることにより、「多くの人と関わりたい」という意欲を高め、相手にわかるように伝えようとする態度を身につけさせたい。

4 単元について

本単元は、いろいろなカテゴリーのものの名前を英語で言ったり、好きなものや好きでないものを尋ねたり答えたりする活動を通して、積極的に友達や担任、ALTやJTEとコミュニケーションを楽しむことをねらいとしている。また、英語を使うという場面設定の中で、普段はあまりふれあうことのない友達とも会話することで、互いをよく知り合い、相手のよさに気付くことも期待している。

第1時では、果物、動物、食べ物、スポーツなど児童に身近なものの名前を取り上げ、それらに親しむ中で、日本語と英語の音の違いに気付かせたい。第2時ではキーワードゲームや〇×クイズを通して、語彙や好きなものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ活動を行う。第3時(本時)では、友達にインタビューゲームをして自分の好きなものを聞き合い、その情報をもとにしたWho am I? クイズを行う。"Do you like ~?" という表現を使って尋ねたり自分の好みを伝えたりする楽しさがコミュニケーションに対する意欲へとつながるであろうと考える。

5 単元の評価規準

- (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 【関】
 - ・好きなものや好きでないものについて、自ら進んで伝えている。
- (2) 外国語への慣れ親しみ 【慣】
 - ・好きなものや好きでないものを尋ねたり答えたりしている。
- (3) 言語や文化に対する気付き 【気】
 - ・日本語と英語の音声の違いに気付いている。

6 単元計画（3時間）

時間	目標と主な活動	評価			準備物	
		関	慣	気		評価規準（方法）
1	日本語と英語の音声の違いに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ♪I Like Potatoes 名探偵ゲーム 絵カードを提示しながら、指導者が好きなものや好きでないものについて聞かせる。 キーワードゲーム p.16 Let's Listen① 一本橋ゲーム 			○	日本語と英語の音声の違いに気付いている。 (行動観察・振り返りカード分析)	CD 絵カード
2	好きなものや好きでないものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ♪I Like Potatoes キーワードゲーム p.17 Let's Listen② ○×クイズ 「好きかどうか答えよう。」指導者の質問に対して好きかどうか答える。 		○	○	好きなものや好きでないものを尋ねたり答えたりしている。(行動観察・誌面・振り返りカード点検)	CD 絵カード
3 本時	好きなものや好きでないものについて、積極的に伝えようとする。 <ul style="list-style-type: none"> ♪I Like Potatoes キーワードゲーム ○×クイズ インタビュー Who am I? クイズ 		○		好きなものや好きでないものについて、自ら進んで伝えている。 (行動観察・振り返りカード点検)	CD 絵カード クイズカード

<語彙・使用表現>

I like ~. I don't like ~. Do you like ~? Yes, I do. /No, I don't.

strawberry, cherry, peach, grape, kiwi fruit, lemon, banana, pineapple, orange, melon,

ice cream, milk, juice, baseball, soccer, swimming, basketball, bird, rabbit, dog, cat, spider, etc.

中学校外国語科（NEW HORIZON）との関連

〈1年〉 Unit 3 はじめまして、ブラウン先生	Part 1 自己紹介をしよう	I like soccer.
	Part 2 質問をしよう	Do you play the piano? Yes, I do. / No, I don't.

7 本時の指導

(1) 目標 好きなものや好きでないものについて、積極的に伝えようとする。

(2) 本時のポイント

好きなものについて、児童が自分なりの表現を使っているいろいろな人と尋ねたり答えたりしようとしているか。

(3) 展開

時間	児童の活動	HRT の役割	ALT の役割	指導上の留意点【評価規準】
3分	Greetings ・あいさつをする。 Hello. How are you? I'm _____.	・あいさつをする。 Hello. I'm _____, thank you. How are you?		・明るく楽しい雰囲気です授業が始まるようにする。
5分	Warm-up ・♪I Like Potatoes ・キーワードゲームをする。	・ALT に歌を紹介できるよう元気に歌うことを呼びかける。 ・児童と一緒に声を出し、学習者のモデルとなる。	・わかるところを一緒に歌う。 ・英語の発音を児童に聞かせる。	・歌いながらリズムに乗って、好きなものを表す表現に慣れ親しむようにする。 ・ALT の言い方をよく聞き、まねをして言うように呼びかける。
5分	Main Activities (1) ○×クイズをする。 ・ALT の好きなものを予想する。 ・全員で”Do you like ~?” と尋ね、ALT の答えを確かめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 好きなものをたずね合おう。 </div>		
15分	(2) インタビューをする。 ・友達や先生の好きなものを尋ねたり答えたりしてインタビューカードに記入する。	・”Do you like~?” “Yes/ No.”の表現を繰り返し言わせる。 ・デモンストレーションを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> Demonstration Hello. A: Do you like ~? B: Yes. / No. I like ____ . Thank you. Bye. </div>	・”Yes/ No, I like ~.” の表現を聞かせる。	・基本表現を用いながら「やり取りを楽しみたい」という児童の気持ちを膨らませるようにする。 ・インタビューの方法を全体で確認し、自信をもってできるよう支援する。 ・コミュニケーションにおいて大切にしたいことを確認する。
12分	(3) Who am I?クイズをする。 ・担任やALT が読み上げているのは誰のことかを予想して確かめる。	・よいところを伝えながら回る。 ・あいさつを大切にしよう声をかける。	・英語の表現を使うことが難しい児童を支援する。	・児童がコミュニケーションポイントを意識しながら取り組めるよう中間評価の場を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 【関心・意欲・態度】 好きなものや好きでないものについて、自ら進んで伝えている。(行動観察・振り返りカード点検) </div>
5分	Conclusion ・振り返りカードを書く。 ・分かったことやできたことなどを発表する。 ・あいさつをする。 Thank you. See you.	・振り返りの観点を示し、児童に感想を聞く。 ・ALT に感想を聞く。	・児童の活動や積極的な態度についての感想を言う。 You're welcome. See you.	・自分や友達のよかったところを言葉で表現できるように声をかける。 ・児童の活動の様子についてよかった点を具体的にほめ、次時への意欲を高めるようにする。